

# 2013 ACT 縁 News No.9

2013年9月8日(月)



思い出  
No.2

## 開会式&折り鶴



開会式、司会陣は張り切った衣装であ!きつと…暑かったコトでしょう(´\_`)ウエルカムムービーを見て、そのあとは、とってもチャームな日本医労連執行委員長・山田 眞巳子さんの挨拶と、見た目がちょっとワイルド(?)広島県医労連の執行委員長・桜井 和春さんの挨拶を頂きました。

その後は、特別ゲスト(?)デーモン閣下の大じゃけん大会を開催し、その後、アクト期間中、一緒に過ごす生活班のみんなと初☆対面(\*´\_`\*)わいわいがやがや…「折り鶴ムービー?何だろう?」…しーんとしてみんな、一生懸命見てくれました。そして、1人1羽、丁寧に思いを込めて折り鶴を折ってくれました。みんなに、本当に感謝です。

最後は、フィールドワーク優先推挙ゲーム☆これもまた特別ゲスト(?)戦艦ヤマトの沖田艦長からクイズが出題され、班で協力し頑張ってくれました☆その後のフィールドワーク希望用紙の記入も各班「どこにいこうかなあ?」と楽しそうでした(\*´\_`\*)



できたよ!



折り鶴はこうやって折るんですよ☆



みなさん、  
広島アクトを  
楽しんで  
下さいね!



**佐々木 禎子さんと折り鶴**

佐々木禎子さんは1943年に生まれ、2歳の時に被爆しました。10年後に突然、白血病であると診断され入院しました。千羽鶴がお見舞いに贈られたことをきっかけに、「生きたい」という願いを込めて折り鶴を折り始めます。しかし、8カ月の入院生活の末、家族が見守る中、亡くなりました。

禎子さんの死をきっかけとして始まった「原爆の子の像」の建立運動は、原水爆に対する国民の高い関心に支えられ、全国的な広がりを見せ、約3年後に完成しました。

その後「サダコと折り鶴の物語」は世界中に広まり、禎子さんの死後、今日まで、私たちに平和の大切さを訴え、生きることを問いかけ続けています。

